

本音で語ろう！ これからの施設養育と里親養育



シンポジスト

藤林武史(福岡市こども総合相談センター所長)
「新しい社会的養育ビジョンに向けて」

星野崇啓(さいたま子どものこころクリニック院長)
「児童養護施設と里親の協力関係のために考えておきたいこと」

貝田依子(児童養護施設三光塾 主任指導員・FSW)
「施設養護の課題と展望」

榎本匡笑(兵庫県里親会連合会副会長)
「里親養育の課題と展望」

日時:2018年9月29日(土) 13:00~16:00

場所:甲南大学8号館 811講義室

参加費:無料

お申し込み:不要

お問い合わせ

甲南大学人間科学研究所

TEL/FAX:078-435-2683

E-mail:kihs@center.konan-u.ac.jp

(月~木、土:10時~17時)

※業務の都合上やむを得ず
研究所を不在にすることがあります。

内容の詳細は裏面
に記載してあります。

シンポジウム内容

昨年度、「新しい社会的養育ビジョン」が発表され、社会的養護の実践家に大きなインパクトを与えました。施設養育から里親養育に大幅にシフトすることを含むその内容は、社会的養護の現場に不安をもたらしたのは否定できません。

その後、研修会、学会など、さまざまな機会に、このビジョンを巡って議論がなされてきましたが、実践家、専門家の所属する領域や団体を背負った発言が多くなることもあって、実りある議論が難しい傾向があります。

本「シンポジウム＋意見交換会」は、ビジョン作成に関わった専門家から施設養育、里親養育の実践家まで、社会的養護の将来に関心を持つものが集い、それぞれの思いを語り、対話することを目的に開催します。子どもの健康な成育にとって何が必要かという観点を大切にし、社会的養護のみならず「社会的養育」全般にも示唆が得られることを目指します。

関連領域の多くの方に参加いただき、参加者が自身の思いと考えを整理し、今後の実践への展望を描く機会になれば幸いです。

備考：翌日の9月30日（日）に甲南大学で、「日本ソーシャルペダゴジー学会 第2回学術集会」を開催します。本シンポジウムの主題を別の観点から考える機会ですので、関心のある方は下記の資料を参照ください。 <https://www.evernote.com/l/AlymdXplrSZHVLufxu-NZKyZHdUSkkWnJmA>

イベント中止の基準

ストライキによる交通機関の不通、下記の対象区域に「暴風警報」、または「特別警報」の発表、東灘区土砂災害警報区域に避難勧告または避難指示が発令された場合は以下の通り対応いたします。

- (1) 午前7時時点で上記が解除されていない場合、午前中のイベントを中止します。
- (2) 午前11時時点で上記が解除されていない場合、午後のイベントを中止します。
- (3) 午前11時までに上記が解除された場合、午後のイベントを実施します。
- (4) イベント中に上記の警報、避難勧告、避難指示のいずれかが発表・発令された場合、順次中止します。
- (5) 上記の警報、避難勧告、避難指示が発表・発令されていない場合でも、安全上問題があると判断した場合、中止することがあります。

<対象区域>

神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町（いずれかの地域に発令された場合）



甲南大学

人間科学研究所

Konan Institute of Human Sciences

〒658-8501 神戸市東灘区岡本8丁目9番1号

Tel/Fax : 078-435-2683

E-mail : kihs@center.konan-u.ac.jp

